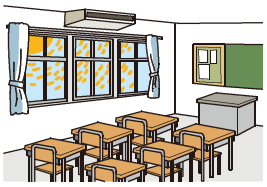
土浦第四中学校　進路・キャリア教育通信

羅　針　盤



令和４年５月１１日

☆　自分の夢や将来への第一歩を踏み出そう！

入学、進級から１ヶ月が経ちました。それぞれの学年で気持ちを新たにスタートしたことと思います。スタートしたときの気持ちを忘れず、目標をもって充実した１年を送っていきましょう。

これから１年間、この進路・キャリア教育通信を発行していきます。この通信は、進路に関する情報や進路の考え方だけでなく、学習のポイントや各学年で行っている進路指導・キャリア教育の様子などを幅広く取り上げていきたいと思います。それが少しでもみなさんの役に立ち、自分の進路決定に向けての一歩を踏み出すきっかけになってくれたらうれしいです。

進路指導部としては、

『将来を見据え、夢や理想をもち、その実現に向けて正しく自己を生かすことができるよう、生き方や人生設計についての指導、援助を計画的、組織的、継続的に行う。』

を掲げ、学年ごとに進路指導の重点目標を定め、計画的・組織的な進路学習を行います。

☆　キャリア教育とは・・

そもそも「キャリア教育って？？」と疑問を抱いている保護者の皆様もいらっしゃるのではないでしょうか。キャリア教育とは、将来、進学したり就職したりしたとき、集団や社会で様々な人と関わり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きていくことができるように、今必要な学習に取り組むことです。進路指導は中学卒業後の進路選択・決定等に関わることが中心ですが、個人の適性や進路先との適合、将来自立した社会人・職業人となるために不可欠な、社会や集団への適応にかかわる学習とキャリア発達を促す支援等も加えた将来に関する総合的な学習がキャリア教育です。卒業して５年後、１０年後になったときのイメージを描いて、目標を共有し、次のステップにつなげていくことが大切になってくるのです。

これらの能力はそれぞれが独立したものではなく相互に関連していて、別々に育てるものではありません。生徒の実態は様々ですから、重点の置き所も違ってくるのは当然です。そして、これらの能力はたくさんの物事を知っているという知識・理解だけで身につくものではありません。数字では計れない能力もあります。生徒のみなさんには、授業や学校行事、部活動などでの様々な体験や学びを通して、これらの力を伸ばし、自らを成長させることを意識してほしいと思います。先生たちもこのように育てるべき能力を具体的に設定し、各学校段階で達成が望まれる進路発達課題を明確にして、みなさんの能力を幅広く捉え、いろいろな角度から見ていきたいと思います。